

# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 千葉県

### （地域における現状・課題）

- ・本県は、都市部・山間部・臨海部で地域ごとの実情が異なることから、課題の整理や体制整備に関して地域に応じた取組を創出していくことが必要とされる。
- ・今後の年少人口の試算では5年ごとに約5%の減少が見込まれており、中学校世代の持続可能なスポーツ基盤の構築が必要とされる。
- ・公立中学校（義務教育学校を含む）で約60%の教師が月60時間以上の超過勤務を行っている現状から、早期に業務改善が必要とされる。

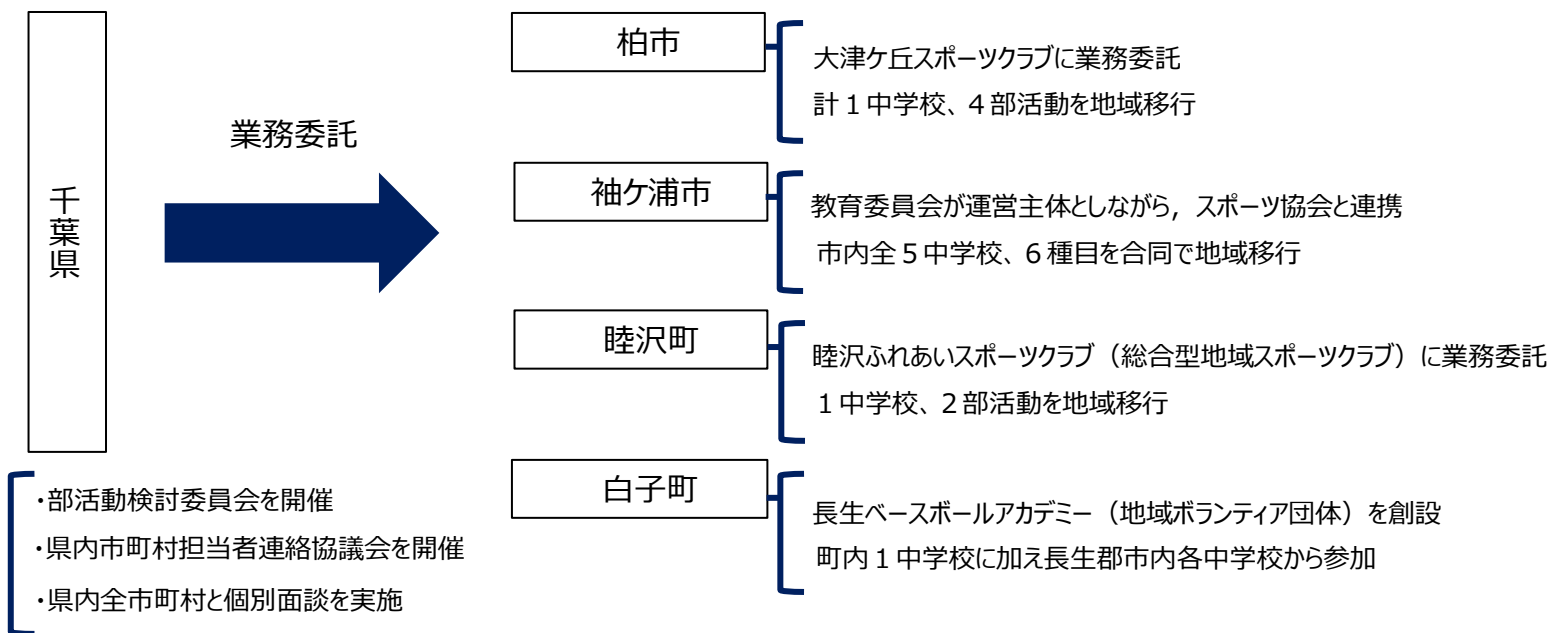
### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

- ①県内全市町村向けの説明会の実施…地域における新たなスポーツ環境の構築に向けた意識改革を図り、当事者意識を醸成する。
- ②千葉県地域運動部活動検討委員会の開催…新たなスポーツ環境の構築の円滑な実施を図るため、関係者の合意形成、県内への普及方法の検討などを行う。
- ③先進的な取組をしている自治体への視察及び情報収集…教育委員会としての関わり方や役割等の知見を深め、有益な情報を県内の市町村に積極的に発信。
- ④再委託による事例創出…都市部、郡部より実情の異なる4市町に実践研究を委託し、成果及び課題を広く共有する。

### （実践研究の成果）

- ①協議会を未設置の市町村において、令和4年度内の設置予定率が28%から57%へ増加。次年度中に77%の市町村で258部活を地域化。
- ②県内の新たなスポーツ環境を構築する上での方針について明確化。③前期①②において、情報共有し、参考としながら効率的に課題を整理することができた。

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 柏市

### （地域における現状・課題）

- ・在校等時間の上限内で、教員が指導することを考えると、土日の指導はできない。
- ・既存の部活動数では、各部活動に複数顧問の配置が困難である。
- ・活動時間の在り方について、保護者のニーズが二極化している。
- ・意識調査では、土日の部活動指導を望まない教員も多く、二極化している。
- ・部員数不足により、学校単位での活動が困難な部がある。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：大津ヶ丘スポーツクラブ / 柏市育委員会

活動場所：大津ヶ丘中学校体育施設

指導者：教員OB、兼職兼業教員、地域実業団指導者

移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎

責任主体：大津ヶ丘スポーツクラブ / 柏市

活動種目：男女ソフトテニス、卓球、バドミントン、野球

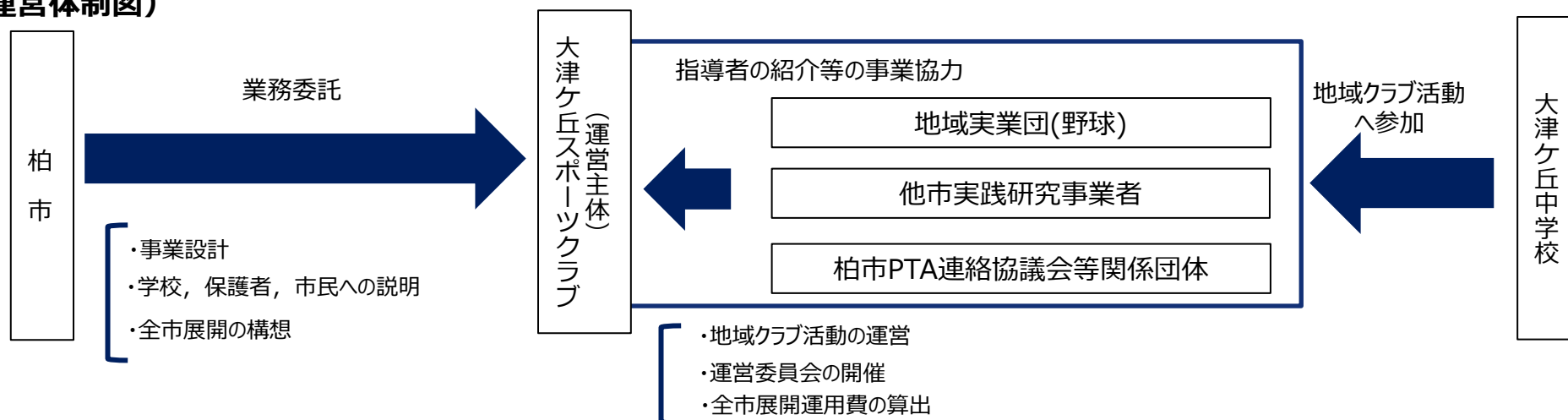
会費等：0円

保険：800円（スポーツ安全保険）

### （実践研究の成果）

- ・実践研究において、運営費用を算出し、運営団体設立に向けた準備を進めることができた。
- ・1月から指導員の募集を開始し、令和5年度の9月から全市展開で地域移行を開始する予定。
- ・保護者、市民に向けた説明用Webページの開設。（地域クラブNET：<https://kashiwa.chiikiclub.net/>）

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 白子町

### （地域における現状・課題）

長生郡市（1市6町村）における部活動加入率は少子化の影響を受け、年々減少しており、単独チームでは練習が確保できない現状がある。近隣の市町村が集まって活動することで、充実した練習時間が確保できる。

学校間・市町村間の連携不足により、持続可能な方法を考える準備ができていない。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：長生ベースボールアカデミー

活動場所：白子中学校

指導者：地域指導者

移動手段：保護者送迎

責任主体：長生ベースボールアカデミー

活動種目：軟式野球

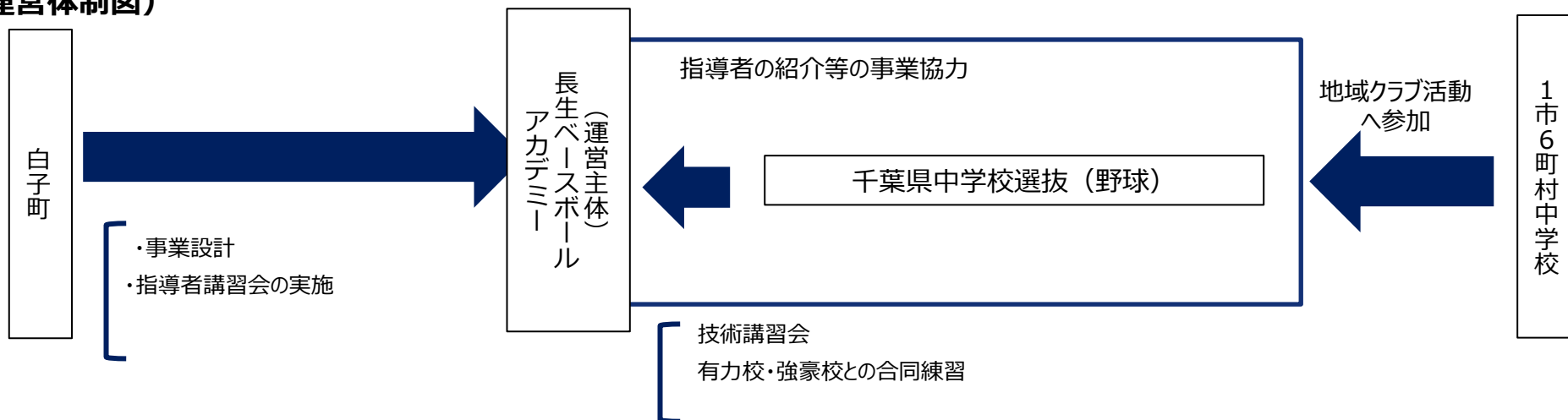
会費等：5000円（年間）

保険：800円（スポーツ安全保険）

### （実践研究の成果）

元々の趣旨にズレがあった。年間30日以上活動することができ、個々の技術力は向上した。今後は、学校部活動との連携の在り方を工夫することが必要であることについて課題を明確化できた。

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 袖ヶ浦市

### （地域における現状・課題）

- ・袖ヶ浦市内には公立中学校が5校ある。団体種目（野球、サッカー等）については連合チームで大会に出場している学校もあり、部員数も減少してきている。今後も大規模校と小規模校との差が大きくなっていくことが予想され、学校区によって抱える課題が様々である。
- ・部活動顧問を担うことや休日の部活動指導や大会引率などを負担に感じている教職員も少なくない。実際に部活動があることで時間外勤務が増えているケースがみられる。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

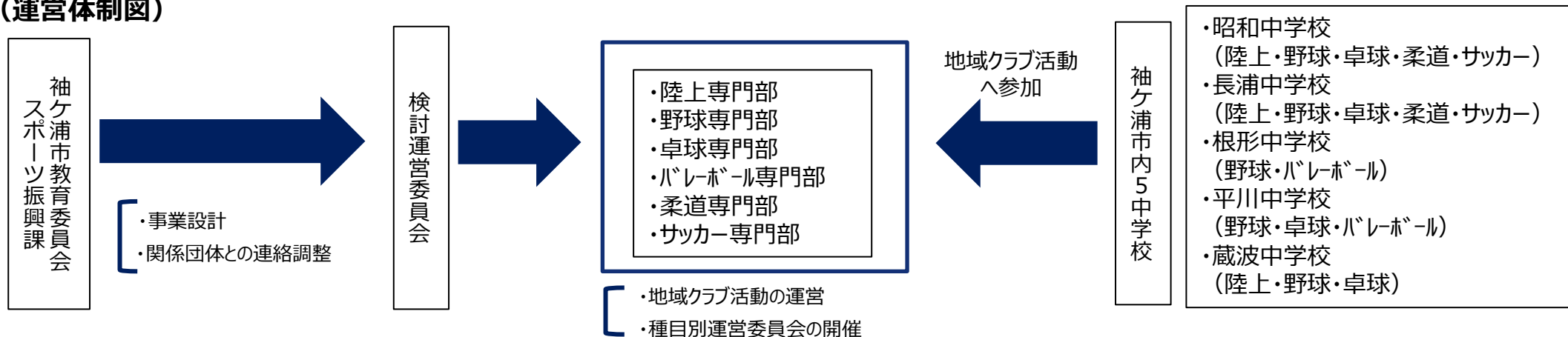
運営主体：袖ヶ浦市教育委員会スポーツ振興課  
活動場所：各中学校、市社会体育施設  
指導者：スポーツ協会専門部、希望する教員  
移動手段：徒歩、自転車、保護者の送迎

責任主体：袖ヶ浦市教育委員会スポーツ振興課  
活動種目：陸上、野球、卓球、柔道、バレー、サッカー  
会費等：なし  
保険：スポーツ安全保険、イベント保険等（市が負担）

### （実践研究の成果）

- ・教職員の働き方改革については、実施回数もまだ少なかったので大きな変化は見ていないのが現状である。次年度以降は、地域クラブの活動と休日の部活動を置き換えることにより、部活動による時間外勤務の削減を目指す。
- ・生徒、保護者、教職員へのアンケートから課題を洗い出すことができた。部活動の地域移行に対して肯定的にとらえている方が多いことが分かった。一方、反対意見や不安という声も多数あった。それぞれの立場にとって最良な取り組みとなるように慎重に進めていきたい。
- ・学校体育施設の使用について、学校施設開放事業と連携し、学校が関わらなくても地域クラブ運営できるよう準備を進めている。

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 睦沢町

### （地域における現状・課題）

教員が地域と連携することの理解を得ることが難しい。  
スポーツクラブの利用料の負担の保護者の理解も必要であり、説明や周知が求められている。  
生徒たちが専門的な指導やスポーツを打ち込める環境を提供する。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：睦沢ふれあいスポーツクラブ（睦沢町からの業務委託）  
活動場所：睦沢町総合運動公園及び睦沢中学校体育館  
指導者：スポーツクラブ指導員及び外部指導者  
移動手段：徒歩、自動車、保護者送迎

責任主体：睦沢ふれあいスポーツクラブ  
活動種目：卓球・バレーボール  
会費等：3,500円  
保険：800円（スポーツ安全保険）

### （実践研究の成果）

今年度より新しくバレーボールの地域移行を実施した。  
アンケートや聞き取り調査を行い参加者、指導者、部活動顧問の現状把握に努めた。  
協議会をを設立準備を実施して次年度以降の事業推進の土台を構築した。

### （運営体制図）

